

# 科目「農業機械」

単位数	4単位	学年	3学年	教科書	農業機械
-----	-----	----	-----	-----	------

## 1. 授業のねらい

この科目は、農業機械の取り扱い、維持管理及び利用について学習課題であり、農産物の生産など主として食料分野に関する科目である。ここでは、主としてエンジンの仕組み、トラクタ、作業機と原動力になる。

このように、地域農業の実際を把握したうえで、農業機械の操作、点検と整備に関する実験・実習などの学習活動をとおして、機械の構造と機能について理解させ、農業機械の正確、安全な取り扱いと維持管理に必要な知識と技術を学習させることが必要である。

## 2. 授業の内容と進め方

地域における農業機械の利用状況などの具体的な事例をとおして、農業機械の合理的な利用について学習させ、農業の生産性の向上と農業機械化の相互関係を理解させるとともに、農業機械の操作と利用に関心をもたせる。科目「農業機械」の内容は、(1)農業機械の役割、(2)農業機械の操作、(3)農業機械の構造と整備、(4)農業生産と農業機械の利用の4つに重点を置いています。それは、私達が今後の生産技術者としての様々な課題にどう対応していくか考える場にしていく。

農業機械の学習に置いては、実際の・体験的な学習を重視し、実践力を習得させる観点から、実験・実習をとおして機械の構造と作業特性の相互関係から機械の点検方法について理解させる。

## 3. 学習する上での留意点

農業機械の学習では、原動機、トラクタ及び作業機の構造と整備について学習させ、各種装置の作動原理と構造を理解させ、整備に必要な基本的、体系的な知識と技術を習得させる。そして、学校農場や地域農業の身近な事例をとおして、農業機械の作業能率と利用経費について理解させ、農業機械の効率的な利用に必要な知識と技術を習得させるとともに、具体的な農業機械化体系を作ることができる能力と態度を育成する。

## 4. 課題・補講について

長期休業中に、指定した文献の中から本を読みレポート提出。また、その期間外での自主的なレポート、自主的な栽培管理に関するレポート提出。

成績が不十分の場合は、補充、課題を実施。

## 5. 評価の視点・考査について

評価の観点	内 容	評 価 方 法
関心・意欲・態度	①実験・実習に主体的に参加し、意欲的に取り組んでいるか。 ②グループの生徒と協調性をもって実習に望んでいるか。	・授業への取り組みや態度 ・学習記録用紙への記入
思考・判断・表現	①記録用紙の自己評価に客観的な判断がなされているか。 ②実習の記録がきちんと整理され、結果に対する考察が十分であるか。	・学習記録用紙の自己評価内容 ・レポート
技術	①トラクターの運転及び・耕種が身についているか。 ②アーク溶接が身についているか。	・実技の習得
知識・理解	①基礎・基本的な技術を身に付けているか。	・定期考査